

仲間がいるということ

校長 小菅 みちる

梅雨の季節になりました。5月31日（土）に予定されていた体育祭は、あいにくのお天気で延期となりましたが、結局開催できず、授業の中で体育祭種目を公開するという形をとりました。平日にも関わらずたくさんの保護者の方々においいただきました。どうもありがとうございました。授業内での実施ということで時間の制約があり、すべての種目を行うことはできませんでしたが、生徒たちはこれまで自分たちが積み重ねてきたものを精一杯表現することができたのではないかと思います。

実は私は、当日、どうしても事情ができてしまい、生徒の輝く姿を見ることができませんでした。本当に申し訳ありません。私自身も無念でなりませんでした。体育祭特別授業実施後に、石川台中学校の教職員から、生徒たちがいかに頑張っていたか、丁寧に報告を受けました。その内容を聞き、それぞれの競技の様子が手に取るように伝わってくると同時に、体育祭という形ではなかったけれど、仲間とともに頑張ってきたこの時間が、生徒一人ひとりにとってかけがえのないものになったであろうことを実感しました。

仲間がいるということは、人生において非常に大きなプラスになるでしょう。信じ合える仲間というのは、失敗しても支えてくれるという安心感も生まれるでしょうし、なにより勇気がわくでしょう。新しいことへの挑戦や、自分らしい生き方への一歩を踏み出しやすくもなるでしょう。また、信じ合える関係だからこそ、ただの慰めではなく、本当に自分のことを思ってくれるアドバイスや意見がもらえるはずです。これは成長や自己改善にとって非常に重要です。達成感や嬉しい出来事を仲間と分かち合えることで、その喜びは何倍にもふくらみます。一緒に喜びを共有できることは、人生をより豊かにしてくれることでしょう。信じ合える仲間がいるということは、人生そのものをより強く、優しく、豊かにしてくれるのです。石川台中学校で過ごす三年間は、そういった仲間を作る日々であってほしいです。

私は、先に述べたように、事情ができてしまったことで6月はたくさんお休みをいただいてしまいました。その中で、「石川台中学校教職員＝仲間」を信じて様々なことを託していました。もちろん、参加できないさみしさや不安もありましたが、「自分がいなくても教職員みなさんが協力して体育祭特別授業を生徒と一緒に頑張ってくれるだろう」と信じていました。特別授業後の報告では、生徒のみなさんの頑張りだけでなく、教職員みなさんが一丸となって生徒のために取り組んでいることが伝わってきました。本当に、感謝の気持ちで一杯になりました。そして、仲間がいることのありがたさを強く感じました。

仲間がいるって、とてもすてきなことです。生徒のみなさんも、石中生として、「縦の仲間のつながり」「横の仲間のつながり」を大切にしていってほしいと思います。

二泊三日の修学旅行

石川台中学校第3学年は、5月16日（金）から18日（日）にかけて、京都・奈良方面に修学旅行に行きました。3学年が始まって約1ヶ月と短い準備期間でしたが、この日のために見学のルートを緻密に決めたり、見学地についてしっかりと下調べしてきました。

1日目は東大寺・薬師寺・法隆寺の見学、2・3日目は班ごとに事前に立てた計画に沿って、京都の寺社仏閣を巡りました。教科書でしか見たことのない荘厳な佇まいに、圧倒された生徒も多くいました。

オーバーツーリズムの影響もあり、バスが満員で見送ることもありましたが、班長を中心に臨機応変に対応することができました。特に2日目の午前中は大雨で肌寒かったこともあり、宿に戻ってからのお風呂は格別だったことと思います。

事後学習では、この3日間経験を生かして、京都・奈良の魅力を伝えるスライドを作ります。各学級で選ばれた班のスライドはけやき祭にて発表予定です。



【学校だより5月号 保護者感想など】

保護者の方からコメント等いただきました。ありがとうございました！！

OGWのお休みモードから、体育祭モードにシフトできているか？心はそのつもりでも、急激な気温上昇に体はついていけないと思うので、「暑熱順化」の実践で暑さに負けず体育祭を楽しめますように。

→【校長から】体育祭はあいにくのお天気で、特別授業の形で保護者の皆様にも参観していただきました。当日は、生徒が暑さに体がついていけないという現象が起きてしまい、保護者の皆様にもご心配おかけしましたことを深くお詫びいたします。今後はこれまで以上に危機意識を高め、学校全体としての対策を講じてまいります。よろしくお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・き り と り・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学校だより6月号 感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

年 組 生徒氏名

お世話になった教職員の方々へ

感謝を伝えることができました

5月2日（金）6時間目、本校体育館にて離任式が行われました。今年度は12名の教職員が本校を離れることとなり、当日はそのうちの8名の教職員が出席しました。



式では、校長先生から離任された教職員一人ひとりの紹介と感謝の言葉が述べられた後、代表生徒が感謝の気持ちを込めた手紙を朗読し、教職員との別れを惜しみました。また別の生徒からは花束が贈呈され、会場は温かな拍手に包まれました。

離任された教職員の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ケンちゃんの朝顔の芽が出ました



4月に種をまいたケンちゃんの朝顔が順調に育っています。日当たりの良し悪しによって育ち方に差がみられますが、蔓が伸び始めたものもあります。

毎朝、ボランティアの生徒たちが欠かさず水やりをしてくれています。夏に、きれいな花が咲くのを楽しみにしたいと思います。

水やりボランティア生徒の感想を紹介します。

- 朝友人と競って水やりの仕事をやるのが楽しかったです。朝顔の芽とともに交通安全の気持ちが芽生えました。（3年男子）
- 思った以上に朝顔が早く成長していてびっくりしました。これからもちゃんと育てられるように挑んでいきたいです。（3年男子）
- 支柱に絡まるようになってもうすぐ花が咲きそうだと思います。毎日水をあげていたから大きくなって嬉しいです。（3年女子）



困難を乗り越え、全学年が一つになった体育祭 体にピース～限界突破で背中を見せろ～



この度の体育祭は、天候等の影響により二度の延期を経て、残念ながら中止となりました。しかし、6月4日（水）、生徒たちのために何かできることはないかという思いから、新しい形での体育祭種目の発表を実施いたしました。

まず、朝に全校集会が開かれました。その中で、生徒会主催で作成した「てるてる坊主」と3年B組、3年C組がクラス全員で作成した紅白旗がお披露目されました。

その後、各学年で1時間の体育の時間を設け、その授業時間内で学年種目の競技を行いました。各学年がそれぞれの学年らしさを発揮し、クラスの絆を深める貴重な時間となりました。

さらに、この日の5時間目には全学年が校庭に集合し、積み木リレー、全員リレー（1年B組・1年C組・A組と2年生サポートメンバーが参加しました）、綱引き、紅白リレーを実施することができました。短い時間ではありましたが、1年生から3年生まで学年を超えて一致団結し、応援し合う姿は本当に素晴らしく、最後には笑顔で終わることができました。

当初予定していた体育祭とは異なる形となりましたが、生徒たちは状況を受け入れ、限られた時間の中でも精一杯取り組む姿を見せてくれました。本番当日は中止となってしまいましたが、予行練習では入退場の練習に加えて実際にいくつかの競技を実施することができました。中でも3年生の「大ムカデ」は圧巻で、3年生の見事な団結力が発揮され、後輩たちにより手本を示すことができました。



3B,3C 紅白旗とともに A 組
応援旗(右端)も掲揚しました。

予期せぬ形となった今回の体育祭でしたが、結果として学年を超えた絆がより一層深まり、生徒たちにとって忘れられない一日となったことと思います。

保護者の皆様には、急な変更にもかかわらずご理解をいただき、ありがとうございました。今後とも、生徒たちのために教職員一同、精一杯努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

生徒たちの願いを込めた「てるてる坊主作り」

体育祭の実施を願って、生徒会役員が中心となり「てるてる坊主作り」を企画しました。生徒会がボランティアを呼びかけたところ、朝8:05～8:15という早い時間にも関わらず、多くのボランティアが集いました。てるてる坊主は紅白2種類で、それぞれの色のクラスの生徒が作成し、合計で紅386個、白332個というたいへん多くのてるてる坊主が完成しました。



生徒会役員は、全てのてるてる坊主を使って巨大な一つのてるてる坊主を形作り、中央玄関に掲示しました。生徒たちの体育祭への熱い思いが込められた、まさに学校全体の願いの象徴でした。願い空しく、体育祭は中止となってしまいましたが、この経験を通じて生徒たちは協力することの大切さ、そして困難に立ち向かう団結力を学ぶことができました。